

グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）第二期への資金拠出について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金¹（以下、GHIT Fund）の活動の第二期となる2018年度から2022年度までの5年間に、GHIT Fundの資金拠出パートナー²とともにフルパートナーの一員として、資金拠出を行うことを決定しましたので、お知らせいたします。当社を含むGHIT Fundの資金拠出パートナーによる第二期のコミットメントは、総額200億円以上の規模となる見込みです。

GHIT Fundは、HIV/AIDS、結核、マラリア、顧みられない熱帯病³等の、特に開発途上国の人々を苦しめる感染症の制圧を目指して、日本の技術、知見、イノベーションを用いた治療薬、ワクチン、診断薬の開発を目的として2013年に設立されました。日本国政府（外務省、厚生労働省）、民間企業、ビル&メリンダ・ゲイツ財団⁴、英国の財団であるウェルカム・トラスト⁵および国連開発計画が参画するグローバルヘルスの製品開発（グローバルヘルス R&D）に特化した世界初の国際的な官民パートナーシップです。

第一期（2013年度から2017年度）において、GHIT Fundは61件のプロジェクトに対して約100億円の投資を行い、探索研究から南米やアフリカにおける臨床試験に至るまで、日本の創薬技術・ノウハウ・英知をグローバルヘルスに直接的かつ効果的に活かすことを目指してきました。

塩野義製薬は、多剤耐性結核菌に対する治療薬創製を目的に、「結核治療薬の候補化合物探索プログラム（2013年：The Global Alliance for TB Drug Development との共同実施）」、「新規抗結核薬のリード化合物探索研究（2015年：公益財団法人結核予防会結核研究所およびThe Global Alliance for TB Drug Development との共同実施）」を開始しております。また、顧みられない熱帯病領域においてはシャーガス病、リーシュマニア症に対する治療薬創製を目的として、Drugs for Neglected Diseases initiative が主導するコンソーシアム「顧みられない熱帯病（Neglected Tropical Diseases）創薬ブースター（2014年）、創薬ブースターII（2016年）」に参画するなど、さまざまな取り組みを進めております。

塩野義製薬は、「創薬型製薬企業として社会とともに成長し続ける」ことを経営目標として掲げた中期経営計画SGS2020の中で、「感染症」をコア疾患領域のひとつに選択し、「世界を感染症の脅威から守る」ことを当社が解決すべき社会課題の1つと位置付けております。GHIT Fundへの参画を通して、開発途上国をはじめとする感染症の脅威にさらされている世界中の人々の健康に貢献することで、創薬型製薬企業としての使命を果たせるよう努力してまいります。

以上

[お問合せ先]

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL：06-6209-7885

FAX：06-6229-9596

1. グローバルヘルス技術振興基金 (GHIT Fund) について

公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金 (GHIT Fund) は、グローバルヘルス分野の製品開発に特化した世界初の官民パートナーシップとして、日本政府 (外務省、厚生労働省)、製薬企業などの民間企業、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、ウェルカム・トラスト、国連開発計画が参画するの共同出資により運営される、国際的な非営利組織です。GHIT Fund は 2013 年 4 月に設立され、世界の最貧困層の健康を脅かす感染症と闘うために、製品開発パートナーシップへの投資ならびに、ポートフォリオマネジメントを行っています。開発途上国に蔓延する HIV/AIDS、マラリア、結核、顧みられない熱帯病 (NTDs) などの感染症の制圧を目指し、日本と海外の研究機関の連携促進を行い、製品開発パートナーシップへの投資を通じて新薬開発を推進しています。詳しくは、<http://www.ghitfund.org> をご覧ください。

2. GHIT Fund の資金拠出パートナー (第二期) について

GHIT Fund への資金拠出を行う団体のこと。

フルパートナー：日本国政府 (外務省、厚生労働省)、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、ウェルカム・トラスト、アステラス製薬株式会社、エーザイ株式会社、塩野義製薬株式会社、

第一三共株式会社、武田薬品工業株式会社、中外製薬株式会社、富士フイルム株式会社

アソシエイトパートナー：シスメックス株式会社、大塚製薬株式会社

アフィリエイトパートナー：協和発酵キリン株式会社、グラクソ・スミスクライン、ジョンソン・エンド・ジョンソン、大日本住友製薬株式会社、田辺三菱製薬株式会社、メルク (Merck KGaA)

3. 顧みられない熱帯病 (Neglected Tropical Diseases : NTDs) について

世界保健機関 (WHO) によると、顧みられない熱帯病 (NTDs) は、熱帯、亜熱帯などの 149 の国と地域で蔓延する感染症で、10 億人を超える人々が NTDs により健康を害していると推定され、毎年数十億ドルもの経済的損失があるとされています。衛生環境が十分に整っていない地域や、感染を媒介するベクターや家畜などに接する機会の多い世界の貧困層が NTDs の影響を受けています。現在、次の 18 疾患が WHO により NTDs として定義されています。ブルーリ潰瘍、シャーガス病、デング熱・チクングニア熱、メジナ虫症、エキノコックス症、食物媒介吸虫類感染症、アフリカ睡眠病、リーシュマニア症、ハンセン病、リンパ系フィラリア症 (象皮症)、マイセトーマ、オンコセルカ症 (河川盲目症)、狂犬病、住血吸虫症、土壌伝播寄生虫症、囊虫症、トラコーマ、トレポネーマ感染症 (イチゴ腫含)。

4. ビル&メリンダ・ゲイツ財団について

誰の人生にも同じ価値があるとの信条に基づき、ゲイツ財団はすべての人々が健康的で生産的な生活を送れるよう活動しています。途上国に対しては、健康問題や飢餓、極度の貧困からの脱出に対する支援に焦点を当て、米国では、すべての人々、特に貧困層の人々が教育機会や通常の生活を送る機会を得るための支援を行っています。ワシントン州シアトルに本部があり、ビル及びメリンダ・ゲイツ夫妻 (共同議長兼管財人) とウォーレン・バフェット氏 (管財人) のもと、スーザン・デズモンド・ヘルマン氏が CEO となり、ゲイツ氏の父親ウィリアム・H.ゲイツ.Sr.氏も共同議長を担っています。ビル&メリンダ・ゲイツ財団の詳細については、www.gatesfoundation.org を御覧ください。

5. ウェルカム・トラストについて

ウェルカム・トラストは医学研究支援等を目的とした英国の財団で、科学、教育、公共政策、また医療への応用研究等の分野に関連するプロジェクトに向けて投資を行っています。ヒトゲノムのシーケンス解析、マラリアに対する治療薬の研究開発、また「ウェルカムコレクション」と呼ばれる医療や芸術を紹介する施設の創設等、革新的な研究を支援しています。ウェルカム・トラストの詳細については、www.wellcome.ac.uk をご覧ください。